

躍進

新琴似中学校
学校だより

令和7年度

11月号(第9号)

令和7年11月28日

進路選択に向けて

進路指導担当

中学校では1年生から、教科の学習の時間、学級活動の時間や学校行事、総合的な学習の時間の中などでの職業調べ、体験学習、学校訪問などを通し、職業や上級学校に対する理解を深め、いわゆる「進路」について幅広く学んでいます。

それらの学習の中から、「自分は将来どのような大人になりたいのか。」「どのように社会に貢献していくのか。」「その目標を達成するためには、これからどのような道筋で進んでいくのか。」を総合して考えて行くことが「進路学習」です。

現状では、中学校を卒業してすぐに社会に出る(就職する)という人はごく僅かで、札幌市内の中学校卒業生は99%以上の方が上級学校(高校など)に進学しています。この状況を考えると、将来の夢(希望)を考えつつも、とりあえず上級学校(高校など)に進むことを選択する人が大多数となっています。

言うまでもなく、高校に合格することが人生の最終目標ではありません。その学校に進学して何を学び、自分の何を伸ばすのか、そして、その学校を卒業した後どういう道を進むのか、などを真剣に考える必要があります。もちろん、決定までには保護者の方との相談が必要ですし、中学校としてもアドバイスをさせていただきます。

1・2年生も中学校卒業期に向けて、人生の最初であろう大きな選択に、真剣に向き合ってほしいと願っています。

近年の高等学校の入学試験では「WEB出願(手続き)」というものが一般的となってきました。以前のように「願書」を手書きするのではなく、高校側(公立高校は教育委員会)が用意した入力フォームに、各家庭でパソコン・スマートフォンなどを使い「入力(登録)」し、印刷したものに進路写真を貼って中学校経由で高校に「提出(出願)」する、という流れです。

また、受験料(検定料)の支払いは「コンビニ決済」「クレジット決済」「『北海道収入証紙』の貼付」「銀行払い込み」など高校ごとに指定されています。毎年のように制度が変更されていますので、3年生ではその都度最新情報を提供しています。

